



業 種	鉄道・軌道
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用
テ ー マ	踏切事故防止（安全啓発テレビCMの放映）
取組の狙い	踏切通行者の安全意識及び理解度の向上を図り、踏切事故防止を図る。
具体的内容	<p>四国旅客鉄道株式会社は、車による踏切事故を防止するため、<u>幅広いターゲットに対して速やかに認知してもらうことが可能なテレビCM</u>を通じ、踏切通行時のルール及び車が踏切内に閉じ込められた場合の対処方法を伝えている。</p> <p>I 「脱出編」</p> <p>踏切通行者の理解と認識を深めるため、「踏切では、必ず一旦止まって左右の安全を確認してから通行する」ことを伝えている。また、立ち往生時の対処方法として、「渋滞等により車が踏切内に閉じ込められた場合は、慌てずに車でポールを斜めに押し上げて脱出する」ことを伝えている。</p> <p>II 「列車防護編」</p> <p>「脱出編」と同様に、踏切通行者の理解と認識を深めるため、踏切通行時のルールを伝えている。また、立ち往生時の対処方法として、「落輪・故障等で車が動かさなくなり、踏切内に閉じ込められた場合は、踏切非常ボタンを押すか、車に備え付けの発煙筒を使い、列車に合図する」ことを伝えている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>CM「脱出編」15秒版</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「列車防護編」15秒版</p> </div> </div>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・踏切障害事故防止キャンペーン期間（平成23年11月1日～10日）にCMを放映したところ、放映以降、CMを放映した地区では、立ち往生や落輪による踏切事故が減少した（放映後の約半年間は0件）。 ・踏切内で立ち往生した場合の対処方法を浸透させるため、今後もテレビCMによる啓発活動を継続的に実施する。
事業者名	<ul style="list-style-type: none"> ・四国旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 安全推進室 （連絡先 087-825-1666） ・CM（STOP！踏切事故） <p>http://www.jr-shikoku.co.jp/04_company/safety/fumikiri/index.htm</p>

本事例は、鉄道事業者の取組として掲載しましたが、「踏切事故を防止するためには、踏切通行者の協力が欠かせない」ことを踏まえ、自動車運送事業者にも共通するテーマと考えます。

なお、事業者のメッセージを他へ伝える手段は、CMだけではありません（JR四国は、CMを自社HPで公開している他、国土交通省では、運輸安全マネジメント制度を解説したビデオをYouTubeで公開しています）。